

# 【伊万里市教育委員会】

## 校務 DX 計画

### 1 現状

伊万里市では、令和2年度からクラウドサービス（Microsoft 365）を整備し、全教職員及び全児童生徒に提供しており、クラウドサービスを利用した課題の提出や小テストの実施、共同学習における資料共有等、普段から積極的に活用を進めている状況にある。

また、令和5年度には、個別最適化された学習や業務負担軽減を実現するため、統合型校務支援システム及びデジタルドリルを導入したところである。

### 2 課題

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果から、クラウドサービスを用いたアンケートについて、半分以上デジタル化を実施している学校は約60%以上という状況にある。また、FAX を日常業務に使用している学校が55%、業務で押印が必要な書類がある学校が90%となっている。

上記からクラウドサービスの利活用推進、FAX でのやり取りや押印の見直しが課題として挙げられる。

### 3 今後の取組

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検の結果を踏まえ、以下について今後取り組む。

#### （1）クラウドサービスの利活用推進

授業等におけるクラウドサービスの活用の他、保護者から学校への欠席連絡等についてクラウドサービスを活用しているが、その他業務効率化に有効なクラウドサービス活用に関する調査研究を行い、好事例をポータルサイトに掲載する等で学校間における横展開に努める。

#### （2）FAX でのやり取り・押印の見直し

FAX については業者が電子メール等の対応ができない場合を除き、将来的に原則廃止す

る。

また、押印については、法令等により諸証明で教育委員会が押印を求めるものと、押印が必要無いものを区別し、押印の見直しを進める。

### **(3) ペーパーレス化の推進**

自己点検結果、教職員会議等のペーパーレス化について、半分以上ペーパーレス化している学校が80%となっている。

会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化する等の好事例をポータルサイトに掲載する等で学校間における横展開に努める。